

# J Aみちのく村山の “自己改革”をふりかえる

前号11月号では、J Aにとって「自己改革とは何か」というテーマと、当J Aが平成7年に合併誕生して以来、総合事業として地域農業振興へ貢献しながら、いかに「自己改革」につとめてきたかをご紹介します。今号では、さらに具体的な取り組みをふりかえります。

## 支店統廃合と「オープン出納機」の導入

### 改革の目玉・支店統廃合

当J Aが平成19年から進めてきた機構改革の最大の目玉は、それまで17あった支店を4つに集約する店舗の統廃合でした。他金融機関との競争のなか、経営の健全化と効率化を目的に、まず平成19年1月に現在の大石田支店が誕生。これを皮切りに、平成23年度までに楯岡・葉山・尾花沢支店が合併誕生しました。信用・共済事業を中心として、統合による不



平成19年の大石田支店誕生時の様子

便さを解消するため、融資専門職員や信用渉外職員を配置するなど相談機能を強化。組合員・利用者との距離を縮めるべく「出向くサービス」を中心に据え、地域の拠点としてJ A事業を展開してきました。

### 「オープン出納機」導入

統合に伴い、各支店に導入されたのが「オープン出納機」です。金融機関で、現金の入出金を窓口や営業の担当者が一人でできるようにする設備です。「出納担当」を介した現金の出し入れの必要がなくなり、少人数・省スペース化、業務の負担の軽減につながっています。普段、利用者の方からは見えない場所にあります。信用窓口の出納業務（お金の出し入れ）の中心的な設備として現在も使われています。これにより、窓口でお客様を長くお待たせすることなくご利用いただけるようになっていきます。この設備は、県内J Aの中でもJ Aみちのく村山が最も早く導入しました。

### 「お客様感謝デー」の開催

「出向くサービス」によるお客様対応とあわせて、来店者の方にあたたかいおもて

てなができるように、支店では偶数月の15日に「お客様感謝デー」を開催しています。支店ごとに、お菓子などを用意してご来店をお待ちしています。当J Aの各支店では、これからますますに利便性の向上をはかりつつ、お客様本位の店舗づくりをめざしてまいります。



夏はスイカとトコロ  
来店者へお菓子を  
プレゼント(葉山)  
「尾花沢」



J Aバンクマスコットキャラクター「ざんりん」(楯岡)

### 野果菜

### 果樹

### 米

### 畜産

### 生産資材 購買事業

## 農家組合員の所得増大・農業生産の拡大に向けて 営農・経済部門の「自己改革」の取り組みをご紹介します



施設利用で  
労力軽減と規模拡大へ

◆選果施設の再編整備  
◎集荷体制を整備して、産地育成に取り組んでいます。  
◎契約取引や産直での販売を拡大し、生産者所得の安定化をはかっています。



◎園地巡回、目揃い会などによる品質管理  
◎トップセールスなどの販売促進活動



◆カントリーエレベーター・育苗センターを活用  
◎新品種への取り組みを含む「売れる米づくり」を推進しています。  
◎非主食用米に取り組み、水田機能の維持をはかります。

農家の**労力軽減**  
↓  
均一化 高品質・安定供給・規模増大  
↓  
農家組合員の所得増大

- 商流宣伝によるブランド確立
- 牛肉まつりなどのイベントの開催と有利販売
- 研修会による飼養管理技術の向上
- 共進会の参加・開催による飼養管理技術の向上
- 繁殖雌牛の増頭による、生産基盤の整備支援
- 飼料用米の利用による、飼料供給体制の整備
- 出荷した牛ごとに「生産履歴書」をつけ、生産者情報や与えた飼料の内容を表示(安全・安心の取り組み)

当J A管内は、  
東北でも有数の  
肥育牛産地!



水稻銘柄(基肥・追肥)の値下げ  
肥料の17銘柄を6銘柄に集約し、1~3割引き下げしています。

農薬担い手直送規格  
水稲除草剤の超大型規格を、メーカーからの直送にすることにより大幅なコスト低減をはかります。

各種対策による生産者支援 低価格にて販売しています!  
肥料 肥料大口農家対策/肥料担い手直送/肥料大規模農家対策  
農薬 農薬大口対策/農薬担い手生産組織対策